

中央区人権啓発  
連絡会議だより

# こ う ろ

発行  
中央区  
人権啓発連絡会議  
事務局  
中央区総務部  
生涯学習推進課  
(☎718-1068)  
地域支援課  
(☎718-1061)

## 中央区人権を考えるつどい ピュアハートコンサート「ハッピーにえがおを」

中央区人権啓発連絡会議では、平成28年9月14日(水)に中央市民センターで「中央区人権を考えるつどい」を開催し、143人の参加がありました。

このつどいは、人権が一体となって、「人権尊重推進協議会」などが尊重され、人の多様性を認め合う明るく住



みよいまちづくり」を目指すため、毎年、多くの市民の皆さんが人権尊重の大切さについて一緒に考え、人権意識を高めあう場として開催しているものです。今回は、ダウン症や発達障がいなどの知的障がいのあるメンバーで編成する音楽バンド「ピュアハート」のコンサートを開催しました。メンバーの皆さんは、楽譜で覚えることはできませんが、それぞれの理解と記憶の仕方によって、今では30数曲をしっかりと記憶しています。年間50回ほど地域などのイベントに招かれており、音楽

を通して楽しく知的障がいに対する理解や関心を高めています。「知的ハンディがあるからこそできること」に果敢にチャレンジする姿に、来場者はすっかり魅了されました。

### 参加者の感想から

▽すごいなあ。名前のとおりピュアなサウンド。心が洗われました。  
▽障がいがあるとは思えないほど素晴らしい演奏。6名の皆さんが前向きで一生懸命な姿に心を打たれました。



▽皆さんの演奏は希望、夢、生きる力を与えてくれた。デビューから12年間メンバーと共に苦労された先生もすばらしい。  
▽全身で音楽を楽しむ姿に感動。きつとこれからも人々を笑顔にしてくれるでしょう。

## 第45回 福岡市人権を尊重する市民の集い

12月10日開催

福岡市では、世界人権宣言が採択された1948(昭和23年)年12月10日を記念するとともに、部落差別をはじめ一切の差別をなくすことを目的として、毎年12月4日から10日までを「福岡市人権尊重週間」と定め、人権意識の高揚を図る幅広い市民運動としてさまざまな取り組みを行っています。

昨年12月10日に中央市民センターホールにおいて、福岡市人権を尊重する市民の集い(福岡市人権尊重推進委員会主催)が開かれ、(株)ペンシル代表取締役社長・倉橋美佳さんの実践報告と、人権啓発ミュージカル「ハッピーバースデー」の公演があり、357人が鑑賞しました。

### 実践報告 成長の鍵は多様性

#### 株ペンシルがめざす ダイバーシティ経営とは

(株)ペンシル代表取締役社長 倉橋美佳さん



倉橋 美佳さん

(株)ペンシルは、ウェブコンサルティングを行っている福岡市のIT企業。女性、高齢者、障がい者、外国人、LGBT(性的少数者)など多様な人材が活躍する会社

です。

日本の人口の七・六%、十三人に一人がLGBT当事者と言われています。ペンシルでは、社員からカンニングアウトされたから取り組みを始めるのではなく、当然に存在しているという前提でLGBT当事者を招き、社員に研修や助言をしてもらうことから始めました。

その結果、当事者は特別な待遇を望んでいないのではなく、既存の福利厚生制度などを同性カップルでも受けられるようにすることが重要と分かり、企業行動憲章に「採用や就業に際し性的指向、性自認を理由とする差別やハラスメントを一切行わない」と明記。求人応募用紙から性別欄も撤廃しました。

日本の企業の九十九・七%を占める中小企業が変わらなければ日本は変わらない。トップの考えが浸透しやすい中小企業こそ人材の多様性(ダイバーシティ)の取り組みを進めてほしいと訴えていました。

### 人権啓発 ミュージカル

#### ハッピーバースデー

命かがやく瞬間(とき)

2007年に演劇集団フ



2009年にはテレビドラマ化されて話題をよび、以降は福岡、九州を中心に上演を行い、東京、山形、秋田でも上演されています。

この日の公演を見た来場者からは、「子どもたちに身近な人権について、家族で考えることができた」「初めてミュージカルを見て大変感動した。涙がとまらなかつた」「若い親と子どもたちにぜひ見せたいと思った」「人権を尊重する市民の集いに初めて参加したが、とても勉強になった。次回も参加したい」など、絶賛の声が寄せられました。

青木和雄・吉富多美著「ハッピーバースデー」(金の星社刊)は、150万人を超える人が泣いたベストセラー小説です。

# 人権尊重週間 入選作品

福岡市人権尊重推進委員会では、12月4日～10日の人権尊重週間にちなみ、毎年人権尊重作品の募集を行っています。ここでは、中央区内で応募された皆さんの入選作品の一部を紹介します。  
(順不同・敬称略)

## ポスターの部



当仁小学校 6年 中村 帆夏



南当仁小学校 5年 局 光希



高宮小学校 2年 南里 有實賀



平尾小学校 1年 小野 杏奈



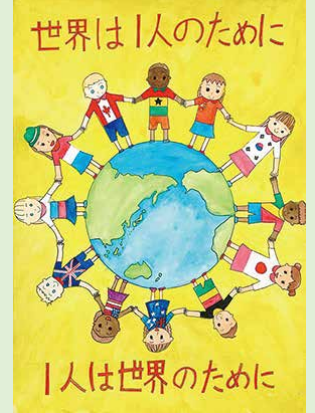
平尾中学校 2年 川邊 純夏



平尾中学校 2年 脇坂 琴



当仁中学校 1年 吉田 歡音



当仁小学校 6年 藤井 咲良

## 標語の部

※市民や児童生徒の皆さんから応募いただいた作文、標語、ポスターなど人権に関する作品の中から選んだ「平成28年度人権作品集」は、各学校に配付されるほか、公民館などで閲覧できます。

- 「なんしよーと？」  
やさしい気持ちで 声かけよ  
ひとりぼっちの あの子にね  
草ヶ江小学校 5年 大島 奏
- 差別はダメ 勇気を出した君に花束を  
警固小学校 6年 貝嶋 杏月
- ふみだすな いじめにつながる 初めの一步  
警固小学校 6年 塚本 優夏
- いじめゼロ みんなのえがお とりもどそう  
福浜小学校 6年 與 あいみ
- ごめんねは LINEじゃなくて 顔を見て  
平尾中学校 2年 中村 涼斗

## 平成28年度 中央区人権啓発連絡会議の活動

開催日	事業名	内容
7月15日(金)	総会	平成27年度事業報告 平成28年度事業計画(案)
	第1回委員研修会	講演「非行少年が海を渡って見えたもの」 講師:天神三丁目町内会長 吉永拓哉さん
9月14日(水)	中央区人権を考えるつどい	ピュアハートコンサート「こころにえがおを」
12月1日(水)	人権尊重週間街頭啓発	赤坂交差点にて街頭啓発への協力
	第1回運営委員会	広報紙「こうろ」編集会議
12月10日(金)	第2回委員研修会	第45回福岡市人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」への参加(中央区会場)
3月1日(水)	第3回委員研修会	中央区人権尊重推進協議会活動交流会への参加
3月9日(水)	第2回運営委員会	平成28年度事業報告(案) 平成29年度事業計画(案)

**視察研修に参加しました**

中央区が主催した「人権協役員等視察研修」に、中央区の人権尊重推進協議会(人権協)から役員・委員の皆さんが参加し、人権学習及び交流を深めることができました。

昨年11月4日(金)に実施した視察研修では、24人が参加し、秋晴れの空のもと、荒尾市の宮崎兄弟資料館などを訪問しました。

宮崎兄弟資料館は、明治の初めに中江兆民の「民約論」の影響を受け、自由民権運動に奔



荒尾市「宮崎兄弟の生家」にて

走った宮崎八郎と、彼が西南戦争で西郷軍に身を投じて戦死した後、彼の自由と平等を愛する精神を受け継いだ弟たち(民蔵、彌蔵、滔天)の軌跡を紹介しています。末弟の滔天は孫文の革命運動を支援したことで知られています。

九州が生んだ人権擁護の先駆者たちの活躍を、資料館職員の分かりやすい説明と多くの展示史料で学ぶことができました。

参加者の皆さんからは、「宮崎兄弟のことを初めて知った。たくさんの史料は見ごたえがあった」「土地の所有が基本的な人権の一つという宮崎民蔵の土地復権論に感銘を受けた」などの感想をいただきました。



平尾校区人権尊重の集い

**校区人権協の活動紹介**

**平尾校区人権尊重推進協議会**

平尾校区人権尊重推進協議会は、平成2年12月に結成されました。福岡市が取り組む八つの人権課題を、地域の老若男女の皆さんと学習するために、

他団体と共催事業をすることで、たくさんの方の意見や情報交換もできました。また、3年前から平尾校区の人権テーマを「つながる力で共に生きる平尾」と決めて啓発を推進してきました。

人を人として認め合う大切さを繰り返し学習しながら、「二人仲良し!」(たとえ相手の言動が意に添わなくても、自ら発信し続ける仲良し)の勇気を持つて、対話を続けることを実践しています。

今後の新しい取り組みとしては、男女共同参画協議会・危機管理協議会と共催し、地域の防災対策を学習する予定です。いざという時や、まさかの災害時に助け合う環境を創り出すためにも、これからも人権を学び合い、校区の豊かな人間関係を築いていけるよう努めてまいります。

会長 諸藤美鈴